



## 希望に満ちた春を迎えよう！

春に先駆けて花開く事で「春つげ草」と呼ばれている梅も、厳しい寒さの中で、まだつぼみを堅くしています。しかし、そのつぼみは少しずつ色づき、ふくらんできているように見えます。立春が間近となりましたが、もうじき清らかな花の匂いを漂わせてくれる事と思います。

いよいよ3年生は、2月3日の公立高校の選抜Iと私立高校の推薦入試を皮切りに、入学試験が本格的にスタートします。この15の春の試練を乗り越えてこそ、希望に満ちた春を迎えることができます。インフルエンザの流行が心配ですが、これまで学習してきた力を発揮し、希望の進路をつかむことができるように願っています。

## あいさつは思いやりや優しさ、そして信頼！

さて、年の初めに非常にうれしい事がありました。皆さんのあいさつがとても良いという事です。先日、地域の会合があり、「中学生のあいさつが素晴らしい。気持ちの良いあいさつを返してくれる。」と多くの地域の方にとって頂きました。本校の生徒が、地域でも成長を見せているなと思うと誇らしく感じます。あいさつは、人間らしく生きていく上で基本となるものですから、大きな声で気持ちの良いあいさつを交わしていきましょう。あいさつが自然に交わし合える学校や地域でありたいものです。

- 『あ』 ⇒ 明るく笑顔で、気分良くあいさつをしよう。
- 『い』 ⇒ いつも自分から、誰に対してもあいさつをしよう。
- 『さ』 ⇒ 先に気付いて、お辞儀を含めてあいさつをしよう。
- 『つ』 ⇒ 続けて毎日、あいさつをしよう。

あいさつは世界共通の行動であり、属する社会やその文化の違い、場面によって変化します。私たちは道行く人々には誰にでも、たとえ見知らぬ人でも声をかけてきました。あいさつができない人は恥とされ、一人前とはみなされませんでした。



今でもビジネスの世界、地域や家族など各コミュニティの中ではそういった傾向が見られます。最も基本的な日本の慣習であるといえます。

## 10(テン)オフ運動、始めていますか？

広島市では市内の小中学校とPTA、教育委員会が一体となって、携帯電話やスマートフォンを午後9時以降は送信しない、遅くとも午後10時までには電源を切る「10(テン)オフ運動」の取組みを開始しています。

10オフ運動は、携帯電話やスマートフォンなどを長時間使用する事で、生活習慣の乱れや家族と触れ合う時間や学習時間の減少、いじめの問題に発展する事を危ぐし、規則正しい生活習慣の定着と適切な使用を促進する事を目的に行っています。

ネットトラブルから大切な子どもを守るために、再度、家庭で話し合ってもらい、使用に関するルールを作って頂けたらと思います。広島市PTA協議会が作成した『親の心得10か条』などを参考にしてみてもいいかもしれません。